

国民スポーツ大会事業 1億1,832万円

第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向けて各会場の準備を整え、各種競技大会を開催しました。

開催競技

- ゴルフ(少年男子)
- サッカー(少年女子・少年男子)
- 軟式野球(成年男子)
- 高等学校野球(軟式)
- フライングディスク
- ボッチャ
- グラウンド・ゴルフ など



学校給食事業 3億9,961万円

地場産物を使用した「ふるさと献立」を毎月実施するなど、地産地消の推進に取り組み、甲賀市への愛着を育む給食の提供に努めました。また、わたSHIGA輝く国スポ・障スポを記念し、スポーツや健康への関心が高まるよう、特別献立を提供しました。



令和7年度に実施した主な事業の詳細については、甲賀市ホームページ「甲賀市の決算」に掲載しています。

市ホームページ▶



令和7年度甲賀市一般会計および各特別会計、決算、基金の運用状況、公営企業会計決算ならびに財政健全化、経営健全化判断比率について、審査に付された各会計の決算書や附属書類等を審査したところ、いずれも関係法令に適合して作成されており、計数も正確で、適正に執行されているものと認めました。

一般会計・特別会計は黒字を維持し、公営企業会計も病院事業会計と診療所事業会計を除いて純利益を計上しています。

財政健全化判断比率と各企業会計の資金不足比率は良好な状態に



決算審査報告
監査委員 山本 哲雄
西村 慧

あると認められます。持続可能な財政基盤の確立のため、国や県の予算編成や補助制度の動向を注視され、より一層特定財源の確保に努められるとともに、GX(グリーン・トランスフォーメーション)やDX(デジタル・トランスフォーメーション)、公民連携、事業のスクラップ・リニューアルを計画的に進められ、3つのテーマ「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」を更に前進させると共に、4つの視点「地域共生社会の実現」「公共施設の合理化」「未来への投資」「市役所力の強化」を強く推進され、第2次甲賀市総合計画基本構想の未来像「あい甲賀」の暮らしにしたいあわせを感じるまちの実現に向け、様々な施策が展開されることを期待して、令和7年度各会計決算審査および結果の概要報告といたします。

※8月18日付
市長へ決算審査報告



問 監査委員事務局 ☎ 69-2261 ✉ 63-4577

信楽小学校改築事業 3億7,917万円

校舎の老朽化に対応するため甲賀市小中学校施設長寿命化計画に基づき、安全で安心な学校施設環境を整備するための改築事業に取り組みました。



信楽小学校の完成予想図

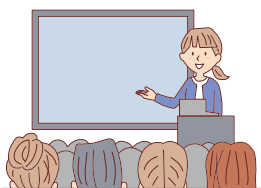
交通安全施設整備事業 4,634万円

通学路合同点検に基づき、通学路で38カ所、未就学園児の移動経路で1カ所の危険箇所について、安全対策を実施しました。



貴生川駅周辺整備事業 4,672万円

貴生川駅北口の送迎時間の渋滞を緩和するため、整備工事にかかる設計業務を実施しました。また、貴生川駅周辺における選ばれるエリア形成プロジェクトを推進し、魅力ある地域づくりを行政と民間が協力して進めるための計画(案)を作成しました。今後、民間と連携しながら事業展開を図っていきます。



令和7年度の主な事業

令和7年度に実施した事業の成果の一部を紹介します。

消防車庫整備事業 4,773万円

「甲賀市消防施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した車庫詰所の更新を進め、消防活動の拠点となる施設の安全性と機能性の向上を図りました。



カーボンニュートラル推進事業 2,200万円

みなくち子どもの森の環境整備時に伐採した竹を活用したオリジナルマイボトルを作成し配付するとともに、省エネ家電製品買替補助により省エネ性能の高いエアコンへの買替を促進するなど、市民の行動変容に向けた取り組みを行いました。



「環境未来都市・甲賀」森のマイボトル

避難行動要支援者支援事業 102万円

「避難行動要支援者同意者名簿」を活用し、災害発生時に支援が必要な方に対して、安否確認や避難行動の支援、また平時の見守りに活用できるよう、地域での支援体制を推進しました。また、災害時、電源の確保が命に直結する、医療的ケア児・者の課題を整理し、実働につなげる「災害時ケアプラン(個別避難計画)」を地域の支援者と専門職とともに作成しました。



保育園運営補助事業

(こども誰でも通園制度の試行的事業) 265万円

保護者の就労状況に関わらず、子育て家庭の多様なライフスタイルや保育ニーズに対応するため、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を試行的に実施しました。



2025大阪・関西万博に向けたブランド発信支援事業 357万円

2025大阪・関西万博に積極的に参画したことを契機として、地場産業をはじめとした地域経済の維持につなげることを目的に、子ども向けワークショップなど万博レガシー共創イベントを県立陶芸の森で開催しました。



11月9日開催 万博レガシー共創イベント

水田宮農活性化対策事業 6億2,698万円

本市農業の大半を占める兼業農家が安定して稲作を継続できる環境を守るため、老朽化した育苗センターを再編整備し、高度な種もみ処理施設や自動播種プラント、大規模な温室を導入した「広域育苗センター」建設を支援しました。



JAこうか広域育苗センター